

多目的(多機能)トイレ

多目的(多機能)トイレとは、車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト対応の設備、おむつ替えシート、ベビーチェアなどを備えることで、車いす使用者だけでなく、高齢者、内部障がい者、子ども連れなどの多様な人が利用可能としたトイレのことです。なお、最近では、乳児用ベッドに替え、乳児から大人まで使用できる「ユニバーサルシート」を設置しているトイレも増えています。

車いす使用者

- ・回転できる広いスペースが必要
- ・便器に移乗するために手すりを使用



オストメイト(人工肛門等保有者)

- ・パウチ(便をためておく袋)から排せつするために汚物流しを使用



ユニバーサルシート

- ・乳児からお年寄りまで使用できる多目的シート

子ども連れ

- ・子どもを座らせるためにベビーチェアを使用

多目的トイレが使えないと困る人がいます



国の利用実態調査では、車いす使用者の約94%の方が多目的トイレで待たされた経験があると回答し、車いす使用者などの障がい者だけでなく、高齢者、子ども連れなどによる利用が集中して、使いづらくなっているという指摘をしています。

車いす使用者は、広いスペースが必要なので多目的トイレを使用しています。また、筋力が弱っているなどの理由で我慢できない人もいますので、一般のトイレを利用できる人が、多目的トイレを利用することは控えましょう。

音声コード

